

令和7年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
 - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(社会) 教科主任名 羽鳥聖子

★9月1日(月)までに入力してください。

9

★教科・観点について
学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。＜○成果 ▲課題＞

観点	前半～9月			後半～1月			次年度に向けて まとめ
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策	
知識・技能	1年	○授業冒頭のクイズを通じ、前時の内容を復習しようという意欲が高まった。 ▲ワークやスタサブなどを活用し、基礎・基本を習得する習慣をつけたい。	○クイズは引き続き行う。 ▲授業時に演習する時間を設けたり、小单元ごとに課題を提示するなど、こまめに復習できるよう工夫したい。	1年			
	2年	○7月アンケートで「説明がわかりやすい」について「よく当てはまる74%(*昨年64%) + まあ当てはまる22%(*昨年31%) = 96%(昨年95%)」だった。昨年よりも理解が高まった生徒が増えた。 ▲縮尺から実距離距離を計算できるようにする。	○わかりやすく、視覚的な教材を工夫し、継続していく。 ▲校外学習の事前に地形図を用いて計算していく。	2年			
	3年	○基本問題を单元ごとにクイズで出題した際、復習しようとする意識が高まった。資料の読み取りや問題を解説する時間を確保できた時は理解度が高まっていた。 ▲既習事項を活用する力を育む必要がある。	・資料を選定して読解力を磨き、用語を使う機会を設けることで、知識の習得を促す。	3年			
思考・判断・表現	1年	○分かったことや調べたことを自分の言葉で表現しようとする意欲が高い。 ▲自分の考えをより発展させる力を高めたい。	○分かったことや調べたことを整理し、まとめる機会を引き続きつくっていく。 ▲他者の考えやさまざまな資料を参考にし、自分の考えを深める機会を設けたい。	1年			
	2年	○毎時の授業の「論点テーマ」を自分なりに考える習慣がついてきた。 ▲自分の考えをまとめる表現力を高めたい。	○「論点テーマ」を明確にした授業を継続していく。 ▲記述する授業の機会を維持する。	2年			
	3年	○風刺画を読み解く活動で、小グループで話し合いプレゼンテーションすることができた。 ▲問題の意図を理解し、自分の意見を根拠立てて表現する力を高めたい。	・主体的・対話的で深い学びができるように、他者との協働的な学び合いにより思考を深める時間を確保する。 ・問題の意図を読み解く練習や、問題を丁寧に解く機会を増やしていく。	3年			
主体的に学習に取り組む態度	1年	○「単元を貫く問い」に対する予想を自分なりに書く姿勢がみられる。 ▲問いに対する予想をより具体的に書けるようにしたい。振り返りシートに記入する習慣をつけたい。	○生徒が考えたいような「単元を貫く問い」を引き続き提示していく。 ▲振り返りシートを書く時間を十分に確保するようにするとともに、お互いに書いたことを共有できる機会を設けたい。	1年			
	2年	○ノート整理が上達し、次の授業を予習する意欲が高まってきた。 ▲実施した授業の順番に教材を整理させることで、復習する意欲を高めたい。	○「次回授業の内容予告」をすることで、学習の継続性・関連性への興味を高める。 ▲ノートや作品に意欲の高まりを表現させる。	2年			
	3年	○社会問題や、修学旅行の事前学習で、地理・歴史の復習と図書や地図、ICTなど複合的に情報を収集しまとめることができた。 ▲社会問題を自分事として捉え、粘り強く学び続ける習慣を定着させる必要がある。	・自分で問いを立てたり、主体的に考えたいような発問を設定したりして、自分事として捉える機会を増やす。	3年			